

射水市総合計画審議会 第2回安全安心部会 会議録(要旨)

日時 令和4年4月19日(火) 午後7時~8時30分

場所 射水市役所本庁舎3階302~304会議室

出席者

(委員)

上田秀永、加治幸大、門田晋、木田和典(リモート参加)、鈴木真由美、高市洋介(リモート参加)、辻ゆかり、釣谷隆行

欠席委員:大坪清治、川原辰弥

オブザーバー:大西宏治、松本三千人(リモート参加)

(当局)

現地参加

長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、小川財務管理部次長、松下市民生活次長、京角市民生活部副参事(環境課長)、轟福祉保健部次長、明野生活安全課長、山口地域福祉課長、竹内社会福祉課長、菓子介護保険課長、明保険年金課長、高岡保健センター所長、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長

リモート参加

島多市民病院長、中野市民病院事務局長、竹内消防長、糸岡市民病院事務局長(経営管理課長)、土居消防本部次長、下村医事課長、大隅総務課長、小路防災課長

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事

(1) 全体構成について

政策推進課長	資料1~4に基づき説明
部会長	資料2の全体構成について意見をいただきたい。
委員A	説明の中に市民目線という言葉が何度も出てきたが、前回の案から今回の案では、どのようなところで市民目線として変更したのか。
事務局	資料1(旧)は、4部構成で主に行政分野ごとに集約していた。資料2(新)は計画を見た方の立場によってどこを見れば自分の状況に合うか直感的に分かりやすい構成に変更した。
委員A	前回の会議で市民からのアンケートを広くとるべきと意見した。資料4には色々な意見が集約されているが、これは改めてとったものか。前回とどの様に変更したのか。
事務局	昨年度に実施した市民意識調査を参考にしたもので、新たにアンケートをとったものではない。資料2は資料1を再構成したものだが、資料1を作成した段階でアンケートやまちづくりミーティングなどを反映したものになっている。
委員A	世界情勢は昨年と比べて目まぐるしく変わっている。第3次総合計画が世に出る

のは先であることを考えると、新しい市民の考え・思いを拾い上げて反映するべきだと思う。

ウェルビーイングは、どの立場で見る観点になるのか。

事務局

市民目線、市民の立場での幸せという観点である。

委員 A

前回の会議で県の成長戦略会議の資料が提出されていたが、県の資料を参考にしながら射水市独自の考え方を示すなど、県とも整合性をとるような枠組みがあると分かりやすいと思う。

委員 B

ライフステージごとの枠組みは分かりやすいと思った。また、短いキーワードも見やすく感じた。

委員 C

前回と比較して、ライフステージごとの枠組みは分かりやすいと思った。

委員 D

前回から全体構成がブラッシュアップされ見やすくなった。若い世代、子育て世代、現役世代にも希望がもてる内容となっている。今から社会に向かうであろう 10代など若い人たちが、これからも射水市に住み、暮らし、生活することに希望が持てるようにブラッシュアップすることができればと思う。

委員 E

医療の現場でも生活習慣病などライフステージで見ている。多くの人にとって身近なこととして受け止めてもらえると思う。

ウェルビーイングの観点についても、主語に「私は」「自分は」とつけて文章を読むと、受け止められる形でまとめてあり筋が通っていると思う。

基本計画の「アフターコロナのまちづくり」について、コロナ禍はまだ続くと考えるとウィズコロナ・アフターコロナとした方がよいと思う。

副部会長

見やすく、感じやすくなったと思う。ただ、射水らしさをもう少し強調するために射水でなければだめだという部分が見えるとよい。観光資源などをアピールしてはどうか。

若い世代イコール学生の意見と思っていたが、小さな子どもを持つ家庭も含まれると思う。そういった人が望んでいるのは近くに遊び場がないことへの対応。関係人口を増やすというためにも、テーマパークをつくるなど富山、高岡にないものがあるとよいと思う。

部会長

遊び場としてハコがあるとインパクトがあるが、今ある射水市の遊び場にも隠れてよい所もあり、若者、市民に知られていないものもあると思う。ツアーなどの発信があるとよい。

部会長

資料3についてご意見をいただきたい。

委員 D

新規として加えられているのは、現状を踏まえた形で盛り込んでいただき大事な部分だと思う。全体的にはこれでよいが、ともに動く観点を強調していただければありがたい。これからは限られた資源の中で、人材、想い、知恵などを持ち寄りながら活動していく時代になると思う。ともに働き動くという形でより良い射水市をつくり上げる計画になれば良い。

部会長

「射水市とつながるあなたへ」の 4-1-1 辺りに協働市民参画があり、こことも関連していると思うが、ライフステージの中にも多少あった方がよいつながりになると思う。

副部会長

「自分らしくあなたらしく」に安心という単語が多く並んでいる。安心を「誰もが健やかに支え合い自分らしく暮らしていける」のように置き換えると柔らかくなると思う。

これからはリーダーが地域をまとめて、ボランティアなどを育てていく視点が必要だと思う。そういった視点もどこかに入れることができれば。

委員 A

参考資料2の主な取組にある充実、推進、構築の考え方を教えてほしい。

事務局	言葉の使い方を統一しているわけではない。取組状況にも差があり、状況に合わせて担当部局で考えて記載している。
委員 A	言葉の意味は重要だと思うので、今後内容を詰めていく際に意味合いを整理してもらえると分かりやすくなると思う。 共通項目として DX の推進があり、取組事項に DX ビジョンの推進とあるが、DX ビジョンは元々あるものなのか、新たにつくるものなのか教えてほしい。
企画管理部 次長	DX ビジョンは昨年 8 月に策定した。「つなぐ」をテーマとして、庁内にワーキンググループをつくったり、大学等と連携しながらスタートした。
委員 A	DX ビジョンを参考資料として提出してほしい。また、DX による具体的な取組は雪対策のところだけ。力を入れていくのであれば、各項目に DX が含まれるなど検討してもらえればと思う。
委員 C	地域医療に市民病院と市内医療機関との連携、機能分担等があるが、交通網に MaaS（マース）という考え方があり、医療機関とタクシーなどの移送サービスを連携することにより、スムーズに医療を受けることができる体制づくりも必要だと思う。
委員 E	医療だけではなくワクチン接種などでも移動が必要。市民病院を中心として交通網を拡充するのはうまくいくと思うが、医師会の各医療機関への交通網の拡充は、医療機関の状況も様々なため、一環した枠組みをつくと患者の自由な診療行為を損なうことにつながる可能性があるかと懸念している。
部会長	「射水で年を重ねるあなたへ」の取組をみると、介護保険など健康に関連したものが並んでおり、「射水で暮らすあなたへ」の「自分らしくあなたらしく」にも健康の項目があり、つなげることができるとよいと思った。
委員 F	活力元気部会では、「共通事項」は本来全部を考える基盤になるので位置を入れ替える必要があるのではといった議論があった。総合計画をどう構築していくのかというところから議論すると新たな気付きが生まれるかもしれないと感じた。 また、いまのライフステージは所謂一般的なものを示しているのだから、そこからこぼれ落ちているものは何かということも考えてもらえるとありがたい。
委員 E	健やかに育つこと、心も体も健康であることを良しとするという前提のライフステージになっている。弱者に対して優しい射水だと思うので、そういった視点をどこに入れていくのか、計画にどう表すかだと思う。
部会長	ウェルビーイングが目指すところなので、今困っている人が生き生きと過ごすために基本目標があると思う。パッと見た時にイメージできるか、見せ方が大事かと思う。外れた方となると「自分らしくあなたらしく」に入ってしまうかなと思うが。
福祉保健部 長	「自分らしく あなたらしく」のウェルビーイングの観点について、健やかということだけが大きな目標なわけではなく、まずは皆が生きていくということを大きな観点にすると、健やかを入れるかどうか検討していただくこともありだと思う。
部会長	色々なレベルの健やかがあり、今よりも少しレベルが上の健やかを目指すなど、「より」という言葉を入れると変わらないか。健やかをすべて取ってしまうのは違うのかなと個人的には思う。
委員 D	弱者をどう支援していくのかという観点のものは盛り込まれているが、もう一歩進んだ形で、どのような立場の方でも自立して生活できるまでいけるとよい。障がいのある人や外国籍の人など、色々な人が生活基盤を確立できるまちづくりまで踏み込めるとよい。
部会長	本日いただいた意見等については、次回の部会での協議資料に反映する。将来像についての意見は次回に聞く。次回資料への反映については事務局と部会長、副部会長に一任してほしい。

(異議なし)

4 その他

事務局

次回の部会は5月17日(火)午後7時から、本庁舎2階で開催を予定している。また、全体会については、5月31日(火)午後7時からの開催を予定している。

5 閉会

以上